

[マニュアル](#)に戻る。

ネットワーク通信

ドリトルではサーバーを起動することで、ネットワークに接続された他のコンピュータ上のドリトルと通信することが可能になる。

サーバーの起動

サーバーはドリトルの編集画面から「server」のチェックボックスをクリックすることで起動することができる。警告のウィンドウが表示された場合には、「ブロックを解除する」を選択する。



起動すると「server」のチェックボックスの下に枠が表示される。サーバに情報が送られると、この枠内に内容が随時表示される。



IPアドレスの確認

ドリトルがサーバーと通信するときは、サーバーが起動しているコンピュータを指定する必要がある。ドリトルがサーバーと同じコンピュータで動作している場合は、コンピュータ名として **localhost** を指定することで通信できる。

ドリトルがサーバーと異なるコンピュータで動作している場合は、サーバーの動作している **コンピュータ名** または **IPアドレス** を指定する。ドリトルが動作しているコンピュータのIPアドレスは、サーバー画面の下部に表示されている。（「192.168.11.8」の部分はコンピュータによって異なる）



サーバーとの接続

サーバーと通信するプログラムでは、最初にサーバーとの接続を行う。次のプログラムはドリトルが動いているコンピュータで動作しているサーバーと接続する。異なるコンピュータで動作している場合には「localhost」の代わりにサーバーが動作しているコンピュータを名前かIPアドレスで指定する。

```
サーバ "localhost" 接続。
```

オブジェクトの書き込み

あるコンピュータ上で作ったタイトルやボタンなどの各種のオブジェクトをサーバーに登録することで、他のコンピュータに受け渡すことができる。

サーバーオブジェクトの書くという命令により、指定したオブジェクトの複製をサーバー上に名前を付けて登録できる。次のプログラムでは、「かめた」という名前のタイトルオブジェクトを、サーバーに「kameta」という名前で登録している。

サーバに "localhost" に接続。
かめた = タートル! 作る。
サーバに "kameta" にかめた) 書く。

オブジェクトの読み出し

サーバに書き込んだオブジェクトは、読むという命令により、読み出して利用することができる。次のプログラムでは、サーバ上に「kameta」という名前で登録されたタートルオブジェクトを、使用中のドリトル上に複製し「かめきち」という名前を付けている。



サーバに "localhost" に接続。
かめきち = サーバに "kameta" に読む。
かめきち! 100 歩く。

From:
<https://dolittle.eplang.jp/> - プログラミング言語「ドリトル」

Permanent link:
https://dolittle.eplang.jp/ch_server?rev=1514996504



Last update: **2018/01/04 01:21**